



大洲市

No.142 2016年11月号

社協だより

編集 / 発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会
〒795-0064 大洲市東大洲 270-1

TEL 0893-23-0313
FAX 0893-23-0295

ホームページ <http://www.ozushakyo.jp>
大洲市社協 検索

★★ ワークキャンプ事業開催！！ ★★

ワークキャンプ事業とは、大洲市内の中学生・高校生を対象に、夏休みを利用して3日間の体験学習活動を行い、ボランティアや福祉等に関心を持ち、理解を深めることを目的として開催している事業です。今年は、8名の生徒が参加し4ヶ所の福祉施設と喜多児童館で体験をさせていただきました。3日間の体験学習の中で、生徒たちはレクリエーション活動への参加や食事介助をさせていただくなど様々な体験をして、新たな気づきが得られた様子でした。(写真のコメントは生徒のものです。)



☆ 児童館実習の様子 ☆

人と人とのコミュニケーションの取り方は、とても難しいことだと改めて実感できました。人との接し方などは、これからにも役立てられるものだと思います。短い実習期間の中で、人との接し方についても学ぶことができました。

昔の大洲のことや働いていた職場での話などをしていたら、皆さんのことを知ることができました。



☆ 施設実習の様子 ☆

ご協力いただきました関係者の皆様、本当にありがとうございました。



利用者さんが、どうしたら喜ばれるか、困られるかなどいろいろな感情を、自分だったらどうしたらいいか、信じたいかを考えて動くこと、信頼関係を持つことの大切さをすごく学びました。



★次頁に生徒の感想文を掲載しています！

ワークキャンプ感想文

(一部抜粋)

帝京第五高等学校二年 宇都宮 彩音



私は、このワークキャンプに中学一年生からずっと参加しています。現在、高校二年生なので、今年で五

回目になります。毎年、夏休みになる前からこの体験をとっても楽しみにしています。「今年はどんなことを学べるかな」、「どんな話をしようかな」など色々なことを考えています。今年は昨年に続いて、ディサービス東大洲に行き、多くのことを体験させていただきました。体験するにあたって毎日心がけていたことがあります。それは、「いつも手は清潔に!」「利用者さんに笑顔で話しかける!」「みなさんに迷惑をかけないようにする!」の三つです。事前説明会の時、「手はばい菌だらけだからしっかりと洗っておいて清潔に保つ」ということを教えていただきました。普段私は、一度しか手を洗っていませんでしたが、二度洗いの方が良いと聞いてからは二度洗いを毎日するようにしています。そして、笑顔であいさつもして、周りに迷惑をかけないように心がけました。これらのことを守って活動することができまし

た。

現場では、さまざまなことを学びました。まず、一つ目は、どんな時でもチームワーク性と段取りが大事だということ。お風呂やカラオケ、レクリエーションにしてもみんなで協力して考え、行動していました。だから、段取りもチームワーク性も良い職員さんたちなんだと一緒に感じていました。二つ目は、利用者さんと色々な話をして、会話を上手く弾ませられたことです。昨年に比べて色々な方とニュースの話だったり、家族の話だったりさまざまなジャンルの話をするのができました。ただ、職員さんのように上手く話すことはできなかったのですが、それは今後の課題です。

このように三日間を通して、自分の良い所、悪い所を見つけることができ、良い体験をすることができました。来年は、今回の課題をクリアして、最後のワークキャンプを楽しみたいと思います。

大洲北中学校 三年

西里 美香



私は、この三日間がとても良いものになりました。この三日間で一番大変だったのは、コミュニケーションです。私が、

利用者の方たちに話しかけたときに、笑顔で私の話を聞いてくれたりしました。話しが終わると、利用者の方たちは「ありがとね」と言ってくれました。私は、話しかけられるだけでこんなに嬉しくなるんだなと改めて気づくことができました。

私は、この一番大事なコミュニケーションができていないと思います。だから、その練習として友だちに自ら話をしたりしていきたいです。話していくことも大事だし、安全も大事だと思いました。利用者さんに安心してもらえるようにしていかななくてはならない!と思います。この三日間過ごしていました。

私が仕事を体験させていただく中でもう一つ気をつけたいといけないと思ったのが、入浴後の頭部の乾燥と利用者さんが感じる熱さと同じではないと思ったので、そこに気をつけました。それと、食事の介助です。ちゃんと、利用者さんの喉ぼとけを見ながら、量に気をつけて介助しました。

私は、できない所が多いですが、ワークキャンプなどを通して、身近な人の介助などを正しい知識で、施設の職員さんたちみたいに周りに気が回る人になりたいと思います。来年もワークキャンプに参加したいなと思いました。

大洲北中学校 三年

上村 春香



このワークキャンプで、私はよりいっそう福祉関係の仕事につきたいと思いました。

三日間という短い期間で、学んだことがとてもたくさんありました。利用者さんと、コミュニケーションをとる中で、相手と同じ目線で、相手の気持ちを考えながら話すことや、相手や周りへの気配り、自分から動く積極性などを学べたと思います。とみす寮のみなさんの仕事をやってみて感じたことは大変だということです。しかし、大変ながらもその中に、楽しさ、嬉しさがあり大変な仕事でもやっていけるんだなと思います。私は、三日間利用者さんにたくさんパワーをもらい、とても充実した三日間になりました。

大人になつたら、看護師になりたいと思っています。看護師になつたら、この三日間で学んだことを生かせるようにしたいです。そして、患者さんの気持ちを考え、患者さんを笑顔にできるような看護師になりたいと思っています。本当にこの三日間は、みなさんに助けられて良い経験ができました。本当にありがとうございました。

まごころのおくりもの 8月分

金銭の部（一般分）

本山 薫美 様 新 谷

（指定分）

《肱北地区社協へ》

いよぎん中村会 様 中 村

《平野地区社協へ》

西川 尋幸 様 平野町

《南久米地区社協へ》

堤 慎一郎 様 北 只

《大川保健福祉協議会へ》

徳永 政明 様 成 能

山岡 勇雄 様 蔵 川

久保 和子 様 成 能

《柳沢地区社協へ》

白石 金美 様 田 処

《肱川地区社協へ》

山田 晴夫 様 肱川町

《河辺地区社協へ》

徳見 知恵子 様 河辺町

山田 晴夫 様 肱川町

《特別養護老人ホーム

かわかみ荘様へ》

草莽の一蛭 様 大洲市

《和太鼓集団 和達

代表者 立花悠様へ》

社会福祉法人 大洲育成園

理事長 澤井 尚 様 市木

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。



大洲育成園

イルミネーション点灯！

◆日時 平成28年12月10日（土）
午後5時30分から午後8時まで

◆場所 大洲育成園（駐車場あり）

◆内容 ・アトラクション等
・桃太郎工房製品の即売
・喫茶、和洋菓子
（ミニうどん、カレーもあり）

◆お問い合わせ先

大洲育成園 ☎25-5251（担当；米澤）

地域の皆様のご来園を心からお待ちしております。



ボランティア
も募集中!!
ご協力お願い
します!!

私は、9月14日に大洲市社会福祉協議会（以下社協）で職場見学・体験をさせていただき、肱北地区のやよいの会の活動に参加しました。やよいの会は、高齢者の方が月に1回集まり一緒に食事、映画鑑賞、笑いヨガ、小学生との交流などを行うことで健康・気力を維持することを目指して、民生児童委員・婦人会・協力会員・在宅介護支援センター・保健師・社協の方々が協力して活動を支えられ交流が行われていることがわかり、貴重な体験をすることができました。やよいの会は毎回食事を発行っており、今回は「いもたき」



高知県立大学
社会福祉学部
2年
稲田 涼矢

イケメン社会福祉士のたまごがやってきた！

春雨サラダ・だし巻き卵」など健康的でおいしい食事でした。参加者の方と会話するなかで、活動を楽しみにされている方が大勢いらつしやるのが分かり、肱北地区になくてはならないものであると感じました。やよいの会終了後、民生児童委員の方からお仕事の内容や気を付けていることについてお聴きしました。大学の講義だけでは学べないことを教えていただき大変勉強になりました。

午後からは、ボランティア活動についての説明をしていただきました。愛とこころのネットワークやワークキャンプ事業などボランティア活動がさらに普及するため様々な取り組みをされていることが分かりました。少子高齢化や介護保険制度の改正に伴う様々な課題についてもお話ししていただき、ボランティア活動の重要性を再認識しました。

最後になりましたが、お忙しい中ご指導いただいた社協職員の方々にそしてやよいの会の関係者・参加者の方々本当にありがとうございました。非常に充実した一日を過ごすことが出来ました。市社協での仕事はゴールや答えがない大変さがある一方で、根拠をもって取り組むことで自分なりのやり方ができる、とてもやりがいのあるものだと感じました。この経験を今後の大学生活に生かし、成長できるように頑張っていきたいと思えます。

福祉教育 ～大洲北中3年生～

福祉に携わるきつかけづくりやより福祉を身近に感じてもらうために行っている福祉教育。大洲北中学校3年生を対象に9月末の福祉施設実習に向けて、車椅子・高齢者疑似体験教室、施設実習前ガイダンスを行いました。



食事体験 ↑ や排泄体験 ↓ (実習前ガイダンス)



施設実習をする上で大切にしてほしいことを始めとして、食事や排泄についても学習しました。食事は、形態などが工夫された食品やとろみのついたお茶を試飲したり、グリップの太いスプーン等をさわったりしました。また加齢による尿量の違いについて尿パッドを濡らす体験を行い、様々な障がいに対しての理解を深められた様子でした。

そして、9月26日から1週間市内

中学生には
負けんぜ!!



じゃんけん
絶対勝つよ!



利用者さんと
一緒にお弁当
も食べまし
た!



中学生も一緒に作業しています。はりがねの曲げ具合の調整も抜群です!!
ものすごい集中力でした!



市内福祉施設での
実習の様子

(一部ご紹介)

の障がい者・高齢者施設16ヶ所で体験学習を行いました。生徒は、慣れない場所で緊張や不安があった様子でしたが「利用者さんは作業が几帳面ですごい。」「あつという間に時間が過ぎた。もう少しお話ししたい。」「車いす介助をさせてもらうのがなんぼ前を考えていた出し物にも挑戦するなど様々な体験をするなかで、新しい気づきを得られた様子でした。

「○の中に文字を入れて言葉が完成します!当ててください!」レクリエーションもがんばりました。



心配ごと相談所案内

大洲市社会福祉協議会 (本所)	【一般相談】 毎週月・水 【介護相談】 毎週金 【弁護士法律相談※要電話予約】 毎月第1・3火(11月1日と15日) 【司法書士等法律相談】 毎月第2・4・5火および毎週木 大洲市総合福祉センター 午前10時～午後4時(弁護士法律相談は正午まで)※祝日を除く
長 浜 支 所	11月25日(金) 大洲市長浜体育館 午後1時～午後4時
肱 川 支 所	11月 7日(月) 大洲市肱川公民館 午後1時30分～午後4時30分
河 辺 支 所	11月10日(木) 大洲市河辺老人福祉センター 午前9時～正午
問い合わせ先 本所 TEL23-0313(代表、弁護士相談予約) TEL23-5629(相談室直通) 長浜支所 TEL52-1194 肱川支所 TEL34-2312 河辺支所 TEL39-2510	